

いじめ防止の3つの柱

● 子どもに寄り添い子どもを深く理解し、子どもの SOS に気付く力を高めます。

教職員一人ひとりが子どもの願いに耳を傾ける姿勢を持ち、子どもの声を敏感に感じ取ることができるよう、自身の人権感覚を磨くための研修会を実施し、子どもたちが SOS を出しやすい環境をつくります。

● 子どもの主体性を育む授業を展開し、子どもの自立心を養います。

子ども一人ひとりを尊重し、主体的、自発的な活動を通して子どもの自立心を育む教育を行うため、新学習指導要領の核となる「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、校内授業研究会を充実します。

● 同僚性を協働性が重んじられた「チーム長尾南」で子どもたちを育みます。

教職員同士が同僚性と協働性を大切にし、お互いの信頼関係を築き、何でも話し合える風通しのよい学校風土「チーム長尾南」を構築し、いじめの未然防止・早期発見に努め、子どもたちをいじめから守ります。